

系	統	けい酸塩系表面含浸材
特	長	1) 塗布するだけで作業が完了。 2) 表面を緻密化し、コンクリートの劣化を防止。 3) 耐摩耗性が向上。
用	途	1) コンクリートの劣化防止材
配	合	比 質量比 A液：B液=100：46 (体積比 A液：B液=100：35)
荷	姿	10kgセット (A液：6.8kg, B液：3.2kg)
外	観	性 状 A 液 (赤キャップ)：無色ないし、わずかに白濁した液体 B 液 (青キャップ)：無色ないし、わずかに着色した液体 混合溶液：無色ないし、わずかに白濁した液体
可	使	時 間 24時間
比	重	1.08±0.05 (混合溶液での液比重)
標	準	塗 布 量 0.25 kg/m ²
貯	蔵	保 証 期 間 6か月 (未使用、冷暗所保存)
消	防	法 による 非危険物 危 険 物 区 分
毒	物	及 び 劇 物 A 液 該当しない 取 締 法 B 液 該当しない
使	用	方 法 1) 含浸面に付着している泥・ほこり等をワイヤーブラシや不織布研磨材・高圧水 洗浄等で除去する。 2) 噴霧器、ローラーで塗布する。
使	用	上 の 注 意 1) A液およびB液の混合溶液は当日中に使用する。 2) 塗布作業はムラのないように行う。 3) 直射日光を避け、また、凍結しないように保管する。

シンナー等の有機溶剤、酸性液体等の接触により珪酸塩が析出します。
ご使用の際には、接触しないようにしてください。

施工したコンクリート面が、コンクリート表面のカルシウム、マグネシウムとの反応物により白化する場合があります。凍結防止剤を散布したところ、海の近くで本製品を使用する場合は、試し塗りなどを行い白化の状況を確認のうえ施工してください。

含浸作業を複数回に分けて行う場合は、完全に乾く前の湿潤状態で、次の含浸作業を行うようにしてください。(長い間隔をあけての含浸作業は、コンクリート内部までの含浸を妨げ白化の原因になります。)

A液の白濁成分は製品保管の状況により白く析出することがあります。
性能には影響はありません。そのまま使用することが可能です。

▲ 注 意

1. 健康上、注意を要する物質を含有しています。
2. 強アルカリ性のため、皮膚・粘膜に付着すると“炎症”を起こすおそれがあります。
3. 取り扱い中は、保護眼鏡、保護手袋、保護マスク等を着用してください。
4. 無色・無臭のため誤飲に注意してください。
5. 詳細については安全データシート (SDS) を参照してください。